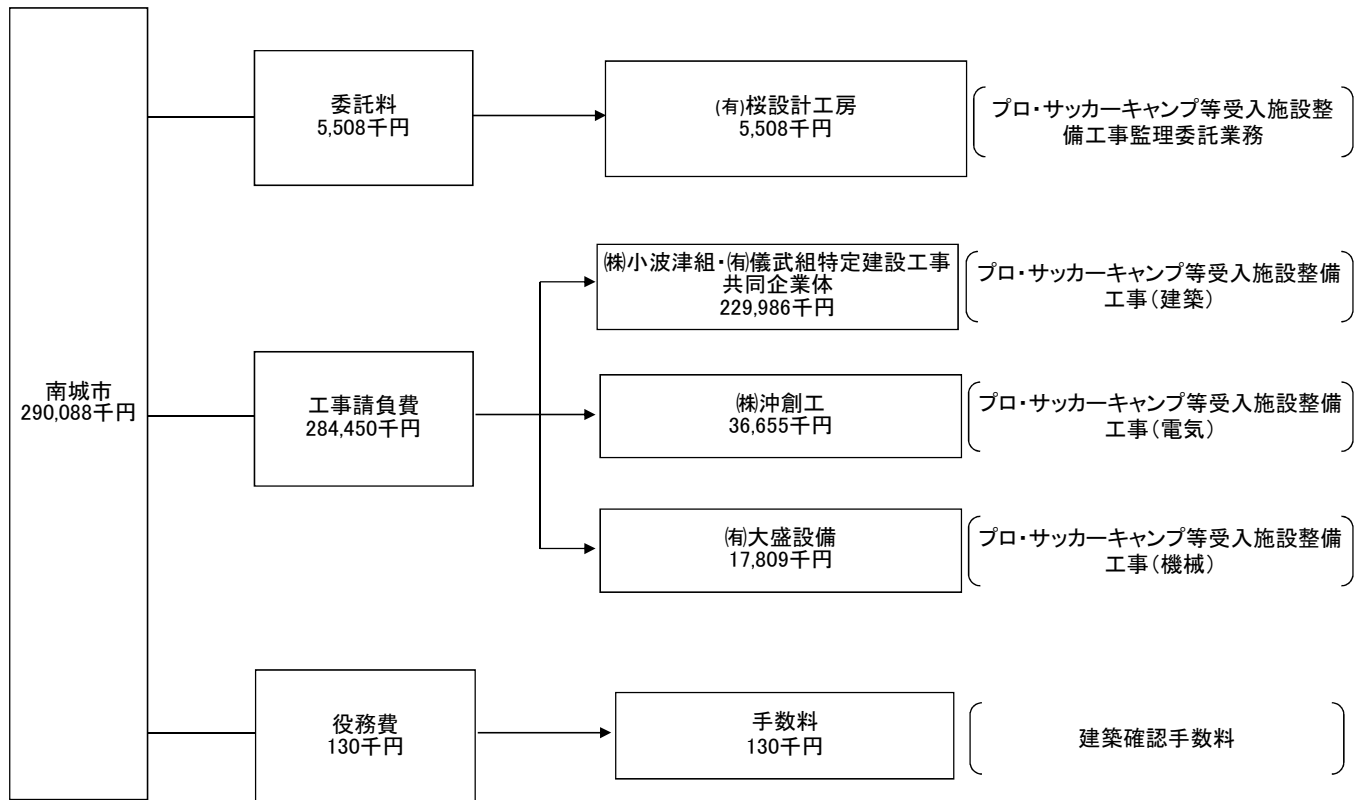


市町村名		南城市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	プロ・サッカーキャンプ等受入施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	教育部 生涯学習課 教育部 教育施設課	事業実施(予定)年度	平成27~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	プロ・サッカーキャンプ及び公式戦受入等の対応ができる陸上競技場・体育館施設の機能を強化整備し、スポーツツーリズムを推進していく。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(H30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	18,720	316,916	—		
		(b)予算現額	24,434	316,916	—		
		(c)増減額(b-a)	5,714	0	—	0	0
		(d)繰越額	—	—	135,432		
		A.計(b+d)	24,434	316,916	135,432	0	0
		B.執行済額	24,330	155,690	134,398		
		うち交付金充当額	19,464	124,552	107,518		
		次年度繰越額	0	135,432	0		
		執行率(%) (B/A)	99.6%	49.1%	99.2%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		建築工事の施行において、土質の一部に硬い岩盤があり、その岩盤を掘削するにあたり不測の日数を要したため繰越となったが、当初予定していた事業内容はすべて実施することができた。 繰越しなかった不用額25,794千円については、落札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	・建築工事(スタンド等) ・電気工事(屋内外の照明等) ・機械工事(地下貯水ポンプ等) ・外構工事(管理道路付け替え等)	目標	(工事の完了)	()	()	()	
		実績	工事の完了				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	サッカーキャンプ等で活用する陸上競技場のスタンド増設やトレーニング室などを整備し、施設の機能強化を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
			()	(工事の完了)	()	()	()
	南城市陸上競技場に関する建築、電気、機械、外構工事の完了	目標	()	(工事の完了)	()	()	()
		実績		工事の完了			
	【H30成果目標】 プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数	目標	()		(3チーム)	()	()
実績				3チーム			
進捗状況説明	陸上競技場のスタンド増設やトレーニング室などを整備し施設の機能強化が図られたことで、ジェフユナイテッド市原・千葉、ガンバ大阪、慶州水力原子力蹴球団(韓国)3チームのキャンプ誘致に繋げることができ、目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・施設の機能強化が図られたことでキャンプ誘致数の目標は達成しているが、プロ・サッカーチームの試合の際に、既存の駐車場だけでは対応できず、臨時駐車場を確保した。	・持続可能なキャンプ誘致に向け、プロ・サッカーチームの試合の際は、事前に臨時駐車場を確保し、駐車場エリアの周知を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・プロ・サッカーチームと観戦者の駐車場エリアを分け、事前周知を改善することで、スムーズな試合運営に寄与できるよう取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
290,088	290,088	232,070	58,018	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者および工事請負業者等は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○落札残が生じたため不用額が25,794千円あったが、当初予定していた事業内容は概ね実施できており、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	